

臨床研究についての説明と研究協力をお願い

研究課題名：「看護師の QOL と性格と組織文化に関する研究」

① 研究目的

看護師は死などの精神的な負担や、倫理的ジレンマ、シフト制勤務や医師や患者と衝突などの問題を抱えながら、責任の大きさに比べて低賃金であり、先行研究においては既に、同程度の教育レベル、年齢層と比較して看護師という職業集団はストレスが過剰にかかるハイリスク集団であると結論づけています。また、“リーダーシップ、看護師へのサポート” “スタッフや資源の妥当性” “看護の質” といった組織風土がバーンアウトに関連していることも報告されております。他の側面においては人格的要因とバーンアウト症候群の関連性についても研究は行われており、性格要素によって看護師はバーンアウトを引き起こしやすいことが報告されています。これまで、社会的要因である組織要因とバーンアウト症候群、個人的要因である性格とバーンアウト症候群の研究は個々に行われてきたと共に、バーンアウト症候群をより包括的に捉えた ProQOL に関して研究は盛んに行われてきませんでした。しかしながら、人間は全人的な存在であり、個人的、社会的要因を併せ持つ存在です。

我々はバーンアウト症候群をより包括的に捉えた ProQOL と性格要因と社会的要因の要因との関連性を明らかにすることを目的とし研究を行います。

② 研究対象者

本研究は倫理審査終了後から 2021 年 3 月 31 日の間にオンラインサーベイにより行います。対象者は集中治療室、小児集中治療室及び手術室勤務の看護師です。

③ 研究方法

本研究では基本属性、職業に関する質問、手術室に特化した質問、性格要素に関する質問、社会要因に関する質問、QOL に関する質問を行わせて頂きます。

④ 期待される効果及び副作用と不利益

本研究で看護師の QOL と社会要因、性格要因の関連性がわかることによって、今後の看護体制をより良くすることができる可能性があります。また、生じうる不利益はアンケート回答に伴い不快感を生じる可能性があります。

⑤ 同意に関する自由意志及び撤回

この研究へご協力は本人の自由意思でお決めになってください。

⑥ 参加の有無に伴う不利益

本研究への参加しないことに対する不利益は生じません。

⑦ 試料等の保存及び期間

本研究の情報は研究終了後 10 年間保管し、その後責任を持って破棄致します。

⑧ 個人情報の取扱い

被験者の個人情報は、研究者以外の目にはふれないようにし、得られた情報は研究目的

以外に用いることはありません。研究終了後、個人情報が含まれる資料は流出、漏洩しないよう裁断・破棄させていただきます。

⑨ 研究に関する情報の公開

この研究の結果は、将来的に学会や論文で発表する予定です。その際には、個人や医療機関が特定できないように処理を行います。

⑩ 情報の閲覧

被験者からの希望があれば研究計画書および研究の方法に関する資料を開示いたします

⑪ 研究実施における許可

本研究は筑波大学倫理審査委員会において研究方法の倫理審査を行い承認を得ています。

⑫ 研究の資金源と利益相反

当研究に関して研究責任者及び研究分担者の開示すべき利益相反はございません。
研究資金は筑波大学 教育研究経費となります。

⑬ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者 筑波大学附属病院 救急・集中治療部 講師 下條 信威

⑭ 問い合わせ連絡先

研究に関する問い合わせ先

この研究に関するお問い合わせは、下記の研究責任者までご連絡ください。

研究責任者：筑波大学附属病院 救急・集中治療部 講師 下條 信威

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話番号：0298967286（集中治療部医局 平日 9:00～17:00 対応）

*担当の下條を呼び出してください。